

本音で語り合い、共に学び合う仲間がいます。

長崎県中小企業家同友会のスローガン

- 一、会員の要望、相談に応えられる会にしよう。
- 一、団結してわれわれの企業を発展させよう。
- 一、組織の力で中小企業の新時代を築こう。
- 一、みんなのちえと力で同友の輪を拡げよう。

よい会社づくりをめざす経営者の団体です。

中小企業家同友会は、「中小企業の経営を良くしたい」という目的のもと、1957年東京で設立され、1972年全国で10番目に長崎県中小企業家同友会が誕生しました。現在全都道府県に約47,000名、長崎県内には、8支部約700名の会員が活動しています。中小企業家が自主的に参加し、手作りの運営を心がけ、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動するという特色が同友会にはあります。一人ひとりが主人公として知恵と経験を出し合い、本音で謙虚に学びあい、学んだことを自社に取り入れ実践して、自社の経営力強化に役立てます。

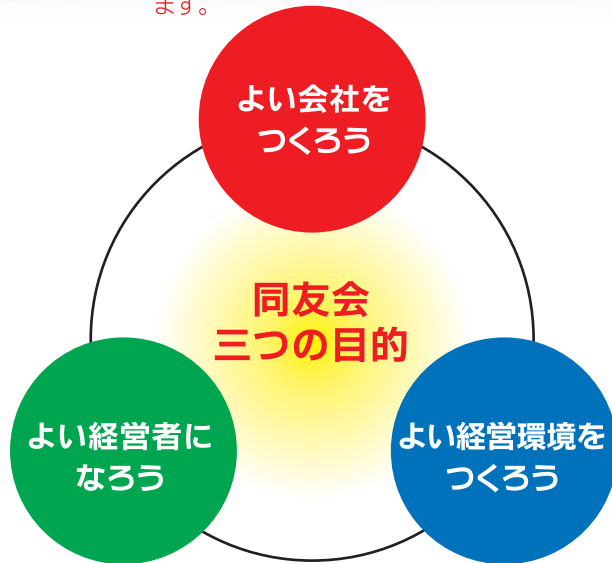
「自主・民主・連帯」の精神で運営しています。

「自主・民主・連帯」の精神で、会員自らが会の運営を行っています。自主的参加が原則で、どの支部例会・委員会にも自由に参加できます。思想、信条、性別、業種、企業規模を問いません。入会されたその時から他の会員と対等な立場で参加できます。

国民や地域と共に歩む企業づくりをめざしています。

同友会は、豊かな国民生活の実現に貢献し、提供する製品やサービスが人々の暮らしの向上と地域経済の発展につながる中小企業をめざしています。また、雇用の創造や特色ある地域づくりをめざし、長崎経済の発展のために自治体や他団体・地域の人々と連携した活動をすすめています。

会員の経験と知識を交流して
企業の自主的近代化と強靱な
経営体質をつくることをめざ
します。



中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

中小企業をとりまく、社会的・経済的・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を安定させ日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

活動紹介

例会：毎月1回の勉強会



例会は参加者全員が主役で、そして学びの場！経営体験報告を聞き、それを問題提起として全員参加のグループ討論を行い「深め、互いに学び合い、気づき合う」ことに同友会の例会の魅力があります。各支部において毎月開催されます。

経営フォーラム



年に一回開催される長崎同友会の県大会です。全国大会に倣い、企業経営のあり方を学び、会員企業の更なる発展を目指します。

全国大会



全国総会、全国研究会、青年経営者全国交流会をはじめ、様々な全国交流会等が開催され、各分野において高いレベルでの学び合いができます。

経営労働委員会



経営理念、10年ビジョン、経営方針、経営計画から構成される「経営指針」や就業規則の作成など、様々な切り口のセミナーや勉強会を開催し企業経営への実践を行っています。

共育委員会



合同入社式、新入社員フォローアップ研修、幹部研修など、経営者と社員が共に学び、共に育つ研修会を企画・開催しています。

政策委員会



地域と共に歩む中小企業として行政や他団体と積極的な交流を図ります。また地域経済発展のため、中小企業振興基本条例の制定・推進運動を展開しています。

青年経営者会



青年経営者の資質の向上を計り、会員企業の振興発展と同友会活動の発展強化に寄与する事を目的とします。入会資格は同友会会員で47歳以下の者、もしくはは会員企業の後継者又は二世も認めます。

その他の委員会活動

- 例会委員会
- 仲間づくり委員会
- ビジョン委員会
- 情報広報委員会
- ダイバーシティ委員会
- 共同求人委員会